

平成30年度 福島県ソフトバレーボール全国大会予選会 開催要項

下記の全国大会に福島県代表として出場するチームを決定するため、この要項により予選会を実施する。

○全国レディース・フェスティバル	滋賀県 草津市（10月26日～28日） [出場枠： 1チーム]
○全国シルバーフェスティバル	新潟県 長岡市（9月22日～24日） [出場枠： 1チーム]
○全国スポレク・フェスティバル	三重県 津市（11月30日～12月2日） [出場枠： 1チーム]
○全国フリー・フェスティバル	東京都 町田市（31年2月16日～17日） [出場枠： 1チーム]

- 1 主催 福島県ソフトバレーボール連盟
- 2 主管 相 双ソフトバレーボール連盟
- 3 後援 福島県（公財）福島県体育協会 相馬市教育委員会 福島民報社
福島民友新聞社 ※各後援団体へ申請中
- 4 オフィシャルボール (株)モルテン (株)ミカサ
- 5 期 日 平成30年 5月13日(日)
- 6 会 場 相馬市 「スポーツアリーナ そうま」
相馬市中村北町55-1 TEL 0244-37-2309
- 7 日 程 受 付 8:30 代表者会議 9:00
開 会 式 9:15 競 技 開 始 9:45
- 8 競技方法 予選種目毎に「予選リーグ・リンク戦」後「決勝トーナメント」を行う。
※参加チーム数により、競技方法の変更を行なう場合がある。

9 参加資格

(1) 共通事項

- ①平成30年度（公財）日本バレーボール協会及び福島県ソフトバレーボール連盟に登録されたチーム及びその構成員で、年齢は（全国大会要項に基づく平成31年4月1日現在）とする。
- ②本大会で全国大会出場の資格を得た場合、その大会への出場を辞退することのないチームであること。 ※違反チーム及び構成メンバーは、13（4）を適用する。
- ③チーム構成員の内2名以上は、マスターリーダーまたはリーダーの資格者であること。
- ④試合は相互審判（主・副審各1名・線審2名・記録員1名・点示員1名）で行う。
「※ 各チームで記録の研修をお願いします。」
- ⑤相互審判及び不測の事態が生じた場合でも棄権を回避できるよう、6名以上で参加すること。
※大会当日、選手構成条件に満たないチームは棄権とみなし、13（4）を適用する。
- ⑥監督及びキャプテンは監督マーク、キャプテンマークを所定の位置に付けること。

(2) 各全国大会種目別選手構成

- ①全国ソフトバレー・レディースフェスティバル
 - ・コート内には常に社会人であって18歳以上の女性2名と40以上の女性2名でプレーしなければならない。18歳未満であっても義務教育課程を修了し、社会人として就業している場合参加を認める。
 - ・1チーム監督1名、競技者8名の計9名以内で構成

②全国ソフトバレー・シルバーフェスティバル

- ・コート内には常に50歳以上、60歳以上の男女各1名の4名で競技すること。
50歳以上の年齢区分に登録される60歳以上の選手は、フェスティバル期間中60歳以上の年齢区分の構成員に変更することは出来ない。
- ・1チーム監督1名、競技者8名の計9名以内で構成

③全国ソフトバレー・スポレクフェスティバル

- ・コート内には常に40歳以上、50歳以上の男女各1名の4名で競技すること。
- ・1チーム監督1名、競技者8名の計9名以内で構成
40歳以上の年齢区分に登録される50歳以上の選手は、フェスティバル期間中50歳以上の年齢区分の構成員に変更することは出来ない。

④全国ソフトバレー・フリーフェスティバル

- ・コート内には常に18歳以上の男女各2名の計4名で競技すること。
18歳未満であっても義務教育課程を修了し、社会人として就業している場合参加を認める。
- ・1チーム監督1名、競技者8名の計9名以内で構成

10 表彰 全国大会出場チーム推薦書をもって表彰とする。

11 参加料及び登録料

(1) 参加料 1チーム 2,000円+協力金1,000円

大会当日の受付時に納入すること。ただし、申込後に棄権した場合も参加料の徴収は行います。

(2) 登録料

日本バレーボール協会 個人登録料 一人1,000円

福島県ソフトバレーボール連盟 個人登録料一人500円・チーム登録料 1チーム 1,000円

※ 所定の登録は大会参加申込み締切日までに完了していること。

12 申込み方法 別紙参加申込書に必要事項を記入し、締切日までに 郵送 にて送付すること。

《送付先》 〒969-1153 本宮市本宮字塩田入74 野内秀夫 気付
福島県ソフトバレーボール連盟 TEL 0243-33-6250

《申込締切日》 4月26日(木) 必着(期日厳守のこと)

13 その他

- (1) 監督は選手を兼ねることはできるが複数チームの監督及び選手を兼ねることはできない。
- (2) 相互審判で運営するため、リーダーのワッペン、ホイッスル(長・短)を準備すること。
- (3) 大会時の傷害について、応急手当は主催者側が行なうが、それ以後の責任は負わない。従って、参加者はスポーツ傷害保険に加入のうえ大会に参加することが望ましい。
- (4) 参加申し込み後に棄権したチームは理由書を提出すること。理由書の内容によりチーム及び構成員へ以下の処分を決定する。
①文書による警告 ②次期大会への出場停止 ③1年間大会への出場停止
- (5) ソフトバレーボールの大会は、参加者全員による「準備」「運営」「後片付け」を協力して行う大会です。